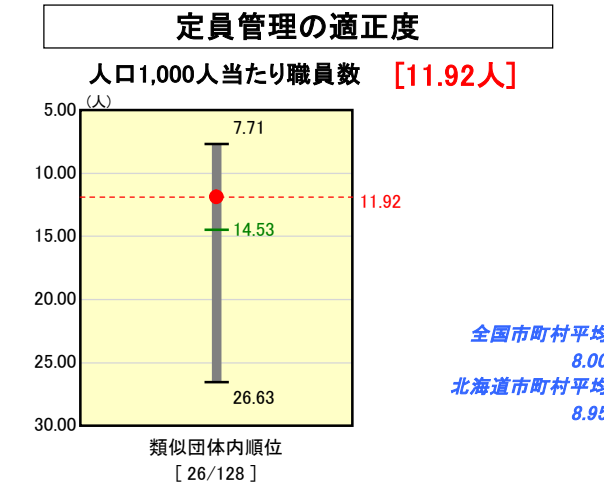
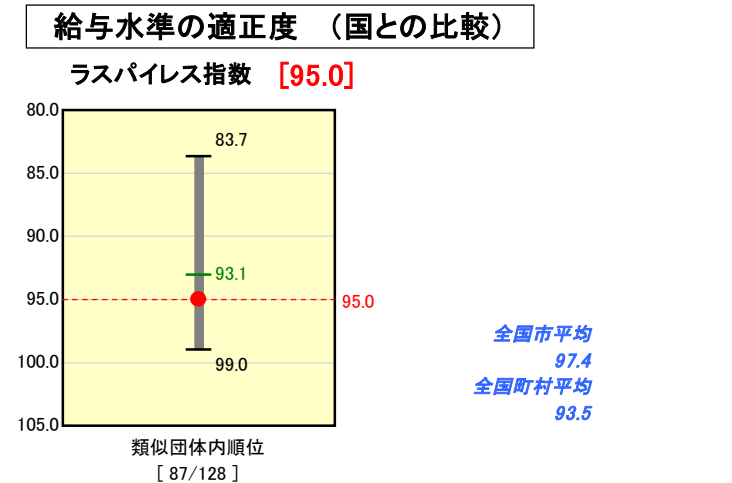
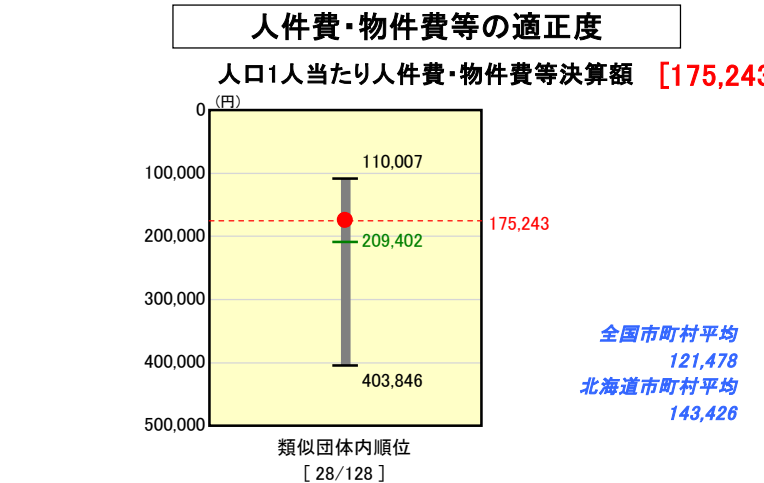
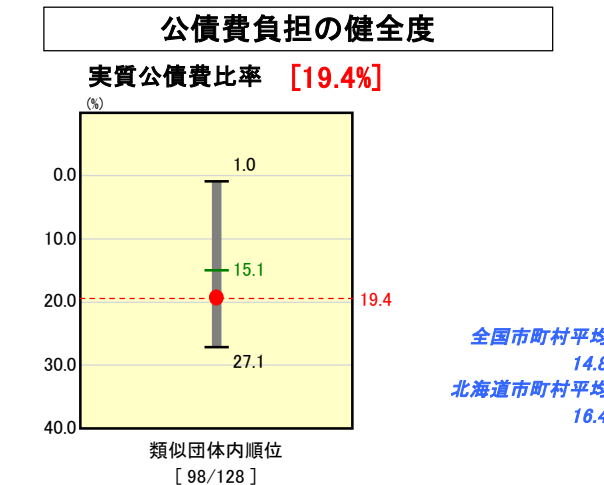
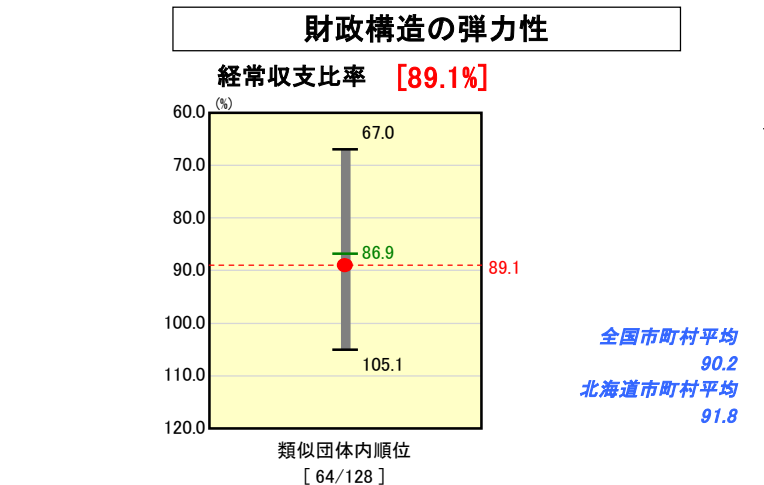
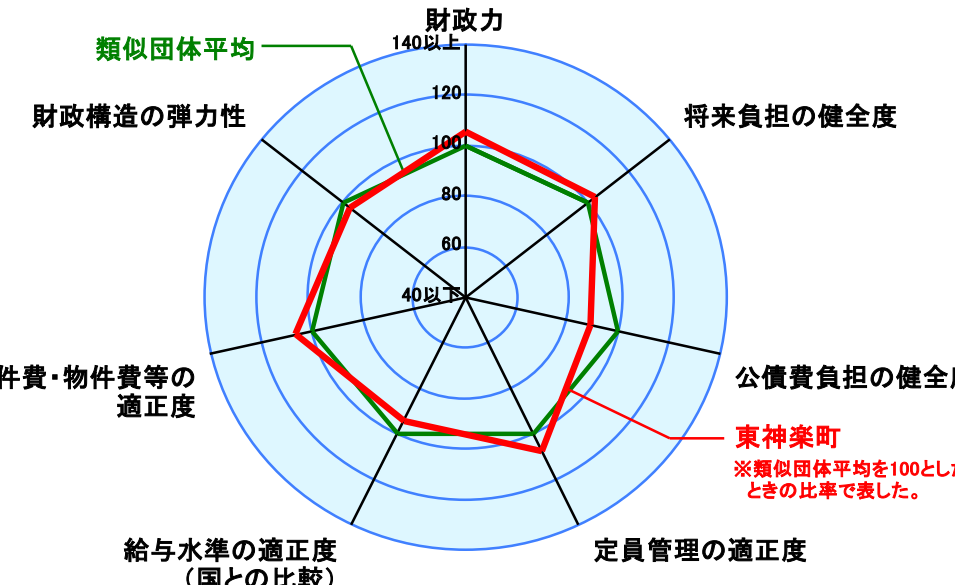
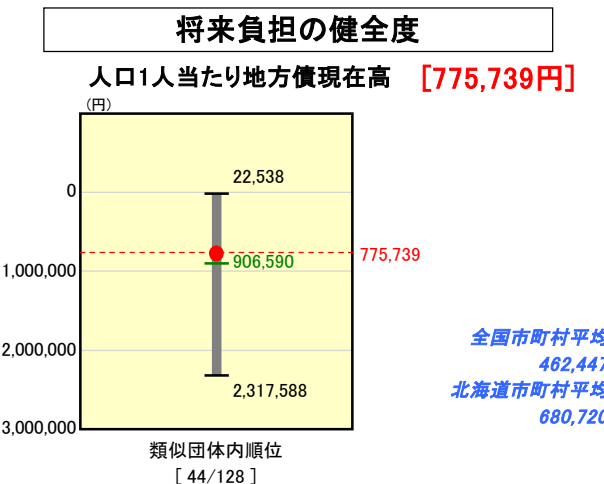
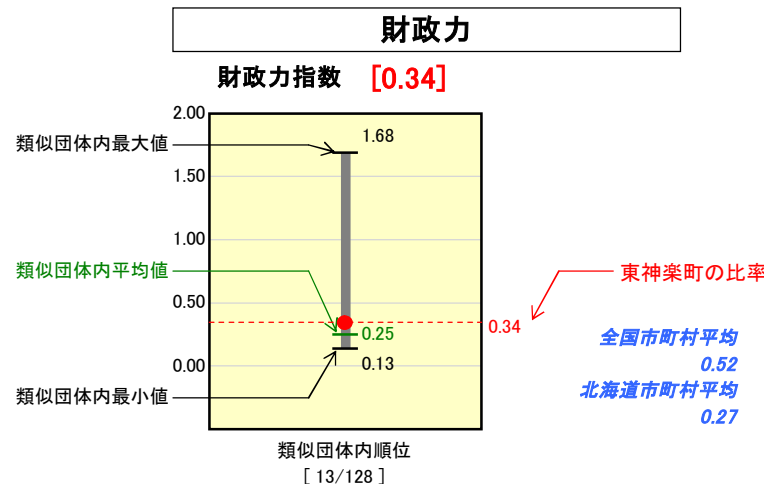


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 北海道 東神楽町

人口	9,397 人(H18.3.31現在)
面積	68.64 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,928,740 千円
歳出総額	4,795,221 千円
実質収支	133,519 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力**  
大規模な宅地造成・分譲による人口増加施策や大型商業店舗の誘致により、自主財源である町税等の増加が顕著であり、収納対策室の設置による、徴収体制の強化も図っている。

**財政構造の弾力性**  
義務的経費の削減、事務事業の見直しを行い、経常経費の削減に努めているが、普通交付税の減少による経常一般財源の減少が大きい。

**人件費・物件費適正等の適正度**  
定員適正化計画に基づく退職者不補充や物件費等の歳出の抑制により類似団体よりも低い数字となっている。今後も適切な定員管理、物件費等の抑制に努める。

**将来負担の健全度**  
地方債残高としては、類似団体より少ないが、将来負担を軽減するため公債費負担適正化計画に基づき借入残高の減少に努める。

**実質公債費比率**  
急速にインフラ整備を進めたことにより、一時期に町債発行が集中し、公債費負担がピークを向えているため、高い数値を示す結果となっているが、公債費負担適正化計画に基づく、公債費の適正管理に努める。

**定員管理の適正度**  
平成初期に行った宅地造成による人口急増期の行政需要に対応するため、所要の職員数を確保したことなどから、類似団体の平均を上回っている。定員適正化計画に基づく退職者不補充やアウトソーシング及び事務の効率化等の推進によって、適切な定員管理に努める。

**給与水準の適正度**  
管理職層の高年齢の職員が多いため、類似団体の平均を上回っている。現在人件費の抑制に努めているが、今後も給与の適正化を図り抑制に努める。